

2020年東京オリンピック・パラリンピック等に向けた取組について

【提案先】文部科学省

1. 提案内容

(1) 地域における文化芸術の創造・発信への支援

- 本県が推進するアール・ブリュットなど、日本各地の特色ある文化を2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムに位置づけ、その魅力発信の取組に対して支援。
- 地域の劇場、美術館等が文化拠点としての機能を発揮できるような環境整備や次世代育成の取組に対する支援の充実。
- 日本有数の舞台芸術拠点「びわ湖ホール」や2019年に整備予定の新たな県立美術館を拠点に、県内各地で日本らしい文化芸術の魅力を発信するプロジェクトを本県と連携して展開。
- 地域に点在する文化財をパッケージ化し、日本の文化・伝統を語るストーリーとして「日本遺産」に認定する仕組みを創設し、地域主体で総合的に整備・活用し、世界に戦略的に発信する取組に対して支援。

(2) スポーツの振興による地域活性化の推進

- 地域のスポーツ振興に活かすため、全国各地で2020年東京オリンピック・パラリンピックや2019年ラグビー・ワールドカップの参加国・地域の代表選手（団）の事前合宿・キャンプを受入れることができるよう、地方自治体が行う誘致活動や受入れ施設の整備に対する支援。
- 東京オリンピック・パラリンピック等を契機として、スポーツを通じた地域の活性化を促進するため、地域の特性に応じた「地域スポーツ・コミッション」の設置・運営に向けて、新たに検討を行う地方自治体を後押しする仕組みづくり。

2. 提案の理由

- 東京オリンピック・パラリンピックやラグビー・ワールドカップの開催効果を日本全体に波及させるため、全国各地で事前合宿・キャンプが受入れられるとともに、特色ある文化プログラムが展開されることにより、日本の魅力が世界に発信されることが重要。
- 本県では、2024年第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会の開催に向けて、東京オリンピック・パラリンピック等の開催効果を活かし、文化とスポーツの振興を図りたい。

(本県の取組状況)

地域に根付く豊富な文化財

国宝・重要文化財の指定件数において東京、京都、奈良に次ぐ文化財の宝庫



日本仏教文化の母山
世界遺産「延暦寺」

第 55 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展招待作品
(撮影・高田真澄)



世界が認めた日本のアール・ブリュット

滋賀県草津市在住の澤田真一さんの作品がヴェネチア・ビエンナーレに招待されるなど日本のアール・ブリュットが国内外で大きな関心



滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

「琵琶湖」など滋賀の自然を生かしたスポーツが盛ん

毎年5月初旬に開催される国内最大規模のボートレース「朝日レガッタ」や、びわ湖毎日マラソン、平成24年全国中学校総合体育大会など、国際レベルや全国レベルの各種競技大会実績も豊富

日本世界に誇る文化施設と生み出される芸術作品

国内有数の4面舞台を持つ本格芸術劇場「びわ湖ホール」では、オペラ、バレエの上演や、クラシックの祭典「ラ・フォル・ジュルネ」を毎春開催



滋賀県立琵琶湖漕艇場